

令和7年度 事業報告書

I 事業の実施状況

公1 技術振興事業

公2 地域産業活性化事業

その他事業

II 庶務事項

III 附属明細書について

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

I 事業の実施状況

【公益目的事業】

公1 技術振興事業

1. 技術者等育成事業

(1) 技術研修助成事業

地域企業の人材育成のため、機械設計や制御システム設計などの能力開発セミナーを行う機関への技術研修等の受講に要する費用の助成をした。（講座数:41、受講者数: 88 名）

分野	セミナーコース名	実施日	会場	人数
機械設計	切削加工を考慮した機械設計製図	6/12～13	樽	1
	有限要素法理論の理解のための要素定式化及びマトリックスの処理法	7/17～18	樽	1
	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	10/23～24	札	1
		12/2～3	札	1
	3次元CADを活用したアセンブリ技術	11/20～21	札	1
		12/11～12	札	1
	2次元CADによる機械設計技術	12/1～3	札	1
幾何公差の解釈と活用演習	11/27～28	樽	2	
制御システム設計	油圧実践技術	5/21～22	札	1
		11/19～20	札	4
	PLC制御の応用技術	6/5～6	札	1
		6/11～12	樽	1
		3/4～5	樽	4
	有接点シーケンス制御の実践技術	8/19～20	札	1
		9/6～7	札	2
	11/4～5	札	1	
空気圧回路設計実践技術	9/18～19	樽	1	
PLCによる位置決め制御技術	10/15～16	樽	1	
シーケンス制御設計	PLCプログラミング技術	2/25～26	樽	4
設備保全	現場のための電気保全技術	8/5～6	樽	2
		10/9～10	札	2
	電気系保全実践技術（有接点シーケンス編）	8/25～26	札	2
組込みシステム開発	オープンソースプラットフォーム活用技術	7/31～8/1	樽	1
	リアルタイム OS による取組みシステム開発技術	11/20～21	樽	1
電子回路設計	回路シミュレータが広がる電子回路設計技術	12/2～3	樽	1
基板設計	基盤製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	7/16～17	樽	2
		9/3～4	樽	1
IT教育・技術指導法	ソフトウェア開発と指導技法実践技術	8/5～6	樽	1
通信システム設計	製造現場におけるLAN活用技術	5/15～16	札	1
	VLAN間ルーティング技術	8/4～5	樽	2
	タブレット型端末を利用した通信システム構築	11/27～28	札	1
電気設備設計・施工	自家用電気工作物の高圧機器技術	9/18～19	札	1
機械加工	切削加工の理論と実際	4/24～25	樽	3
	旋盤加工技術（外径加工編）	5/22～23	札	1
	フライス盤加工応用技術	7/23～25	樽	1
	旋盤加工技術（応用編）	7/29～30	樽	1
	マシニングセンタプログラミング技術	9/10～11	樽	1

機械加工	フライス盤加工技術（精密六面体加工編）	12/16～17	札	1
	フライス盤加工技術（はめ合わせ加工編）	12/18～19	札	1
金属加工	TIG溶接技能クリニック	9/4～5	札	2
材料特性	金属材料の理論と実際（鉄鋼材料の熱処理技術）	7/26～27	樽	4
測定検査	精密測定技術（長さ測定編）	5/15～16	札	1
	精密測定技術（技能検定機械検査作業1・2級対策）	11/11～12	苫	3
生産設備保全	生産現場の機械保全技術	4/22～23	樽	1
	低圧電気設備の保守点検技術	5/8～9	札	1
		10/21～22	樽	1
	生産設備診断技術（振動診断）	6/19～20	樽	1
工場管理	ものづくり現場の従業員が習得すべき品質管理	6/24～25	樽	6
	生産現場に活かす品質管理技法	7/1～2	札	3
		9/30・10/1	苫	3
		3/5～6	樽	2
生産プロセス改善のための統計解析	9/18～19	樽	2	
生産性向上支援	AI(人工知能)活用	11/6	札	1

会場 札:北海道職業能力開発促進センター(ポリテクセンター北海道)札幌市

樽:北海道職業能力開発大学校(ポリテクカレッジ)小樽市

苫:苫小牧市テクノセンター

(2) 技術人材研修助成事業

地域内の企業、研究者等が人材育成及び技術習得のため、経営者、技術者等を研修・研究派遣に要する費用への一部助成及び工場等における社内研修に要する費用の一部を助成した。

① 技術者等人材研修助成事業

対象者	研修内容	助成額(円)
トラスト・セキュリティ（株） （恵庭市）	新任管理者研修 （中小企業大学校旭川校研修）	59,377

② 工場等社内研修助成事業

対象者	研修内容	助成額(円)
(株) F J コンポジット （千歳市）	チームリーダー研修	100,000

2. 研究開発事業

(1) 新技術・新製品開発助成事業

地域内企業の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品づくり及び生産工程の合理化・高度化等に要する費用の一部を助成した。

対象者	事業名	助成額(円)
(株) F J コンポジット （千歳市）	燃料電池向けカーボンセパレータを量産可能とするプレス成形時の装置開発	1,500,000

(2) 技術開発の芽育成助成事業

地域内企業の技術開発の促進を図るため、製品等の研究開発を行う上で課題解決に必要な試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する費用の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額(円)
(株) 岡田建具製作所 (恵庭市)	地域内新商品開発体制の確立	415,234
T S Oスタッフ (苫小牧市)	米国輸出用しょうゆラベルのデザイン開発 及び製作	500,000

3. 技術高度化事業

(1) 産業力強化支援事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、地域企業の経営状況などを掌握し、技術等の相談に応じるとともに各種支援制度の相談や助言など、コーディネート活動を実施した。

地域内企業への訪問等 延べ 239 件

(2) 技術交流事業

ものづくり活動の活性化のため、協議会やセミナーなどに参加し、情報の収集や交換を行うなど、産学官による情報交流・技術交流を実施した。

〈主な情報交流・技術交流〉

- ・苫小牧地区企業誘致連絡協議会
- ・苫小牧地域産学官金連携公開セミナー
- ・苫小牧東部開発連絡協議会
- ・苫小牧高専地域連携シンポジウム 2025

(3) 苫小牧地域産業力強化事業（苫小牧市補助事業）

苫小牧地域の技術高度化や技術開発の促進を図るため、苫小牧商工会議所などと連携を図りながら、立地企業との交流活動などを推進し、地域の産業力強化への支援を行った。

① 地域産業支援事業

名 称 等	実施日	実 施 内 容
・事業周知活動	R7. 4. ~	・財団事業周知用パンフレット等の作成・配布及び企業訪問、ホームページ等による周知活動を実施
・産業支援 (情報提供・相談等)	R7. 4. ~	・技術開発、製品開発等を計画する事業者に対する情報提供、相談受付、専門機関への取次ぎ等の各種支援を実施
・産業支援事業説明会	R7. 4. 17	・「産業支援事業」説明会の開催（苫小牧市、苫小牧地域産学官金連携実行委員会との共催）

② 苫小牧地域産学官金連携事業

名称等	実施日	実施内容
・総会 ・講演会等 ・GKK*活動	R7. 7. 10 R8. 1. 16 R7. 5. 29 等	苫小牧地域産学官金連携定期総会(苫小牧経済センター) 産学官金ゼロカーボンセミナー(グランドホテルニュー王子) 学官金の実務担当者による情報交換を通じて、ものづくり 企業への各種支援制度の活用や技術情報の提供など、様々 な相談に対応(GKK 8回開催)

※GKK；ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 - 道央圏

(4) 地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業(北海道補助事業)

地域企業のデジタル化に向けた支援や専門人材の確保・育成を支援するため、製造業におけるIoT、ロボティクス等の先端技術を有する人材の確保、育成及び定着の促進に向けた支援として、北海道のものづくりの基幹産業である自動車関連産業、食関連産業、IT関連産業の企業訪問等を行い、企業ニーズや課題の把握、相談・指導の実施、技術等に関する調査や助言・指導などを実施した。

企業訪問、相談・指導、関係団体との打合せ等 延べ 207 件

公2 地域産業活性化事業

1. 経営支援事業

(1) 経営管理支援事業

地域企業等の経営力の向上を図るため、人事・労務等の実務に関するセミナーの案内や財団HPへの掲載などにより周知を行ったほか、「現場と経営に効く！生成AIセミナー」と題し、生成AIの基礎的な仕組みや活用事例を紹介するとともに、実際に業務で活かすポイント・留意点などについて解説する経営管理セミナーを開催した。また、大規模災害等の発生時に重要業務が継続できるよう備えるための「事業継続計画等策定支援」についての周知を行うとともに、事業継続力強化計画策定の支援(苫小牧市1事業所、千歳市1事業所)を実施した。

名称等	開催日	会場	タイトル/講師	参加人数
令和7年度 経営管理セミナー 「現場と経営に効く！ 生成AIセミナー」	令和8年 1月28日	千歳アルカディア プラザ1階 多目的ホール	「基礎理解から始める、 業務改革のヒントを探る」 (独法)中小企業基盤整備機構 北海道本部/ 中小企業アドバイザー 笠原俊哉氏	24名

(2) 市場拡大等助成事業

地域の中小企業等が販路拡大等を図るため、自ら製作した製品等を国内の展示会に出展する際に費用の一部を助成した。

No.1 展示会名	ビジネスEXPO「第39回 北海道 技術・ビジネス交流会」		
会期	令和7年11月6日・7日	入場者数	21,632名
会場	アクセスサッポロ(札幌市)		
出展企業名	苫小牧市：フードテクノエンジニアリング(株)、(株)JPC 恵庭市：(株)岡田建具製作所		

No.2 展示会名	第60回スーパーマーケット・トレードショー2026		
会 期	令和8年2月18日～20日	入場者数	80,922名
会 場	幕張メッセ(千葉県千葉市)		
助成企業名	苫小牧市：(株)四季舎、 千歳市：(株)肉の山本、北海道ニッツウサービス(株)、 (株)箱根牧場、岩田醸造(株) 恵庭市：(株)ほんま		

2. 製品開発支援事業

(1) 製品開発助成事業

地域企業等が有する技術の応用による製品化及び商品化を行うため、商品開発、デザイン開発などに要する費用の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額(円)
岩倉化学工業(株) (苫小牧市)	自社で発生している発泡スチロール廃材を用いたリサイクル製品の開発	422,285

3. 地域産業活性化事業

(1) 地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワーク活動への支援

地域の活性化を図るため、地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワークによるものづくり等の研修・研究活動、ものづくりに関わる人材を育てる活動等を支援するとともに、事業に要する費用の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額(円)
苫小牧発明研究会	自然と遊ぼう！エコ遊び！・発明&デザイン「地域宝おこし」	100,000
安平町誘致企業会	安平町誘致企業会「経済セミナー」 ～ 北海道の明日を創る ～	100,000

【その他事業】

苫小牧市テクノセンター管理運営事業

苫小牧市委託事業として、苫小牧市テクノセンター利用許可申請書等の受付業務、使用料等の徴収業務、経理事務等の業務を実施した。

II 庶務事項

1. 理事会

第1回

決議があったものとみなされた日	令和7年4月14日
審議事項	① 評議員会の決議の省略についての決定の件 ② 理事（補欠）2名選任につき、その候補者の決定の件 ③ 評議員（補欠）2名選任につき、その候補者の決定の件
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第2回

開 催 日	令和7年5月8日
場 所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	11名（理事9名、監事2名）
審議事項	① 令和6年度 事業報告及び収支決算について ② 定時評議員会招集の件 ③ 評議会会長選定の件
報告事項	理事長、専務理事の職務執行状況について
結 果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

第3回

決議があったものとみなされた日	令和7年8月4日
審議事項	① 評議員会の決議の省略についての決定の件 ② 評議員（補欠）4名選任につき、その候補者の決定の件
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第4回

決議があったものとみなされた日	令和7年10月17日
審議事項	① 評議員会の決議の省略についての決定の件 ② 理事（補欠）1名選任につき、その候補者の決定の件 ③ 公益財団法人 道央産業振興財団 個人情報管理規程の制定の件
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第5回

決議があったものとみなされた日	令和7年11月28日
審議事項	① 公益財団法人 道央産業振興財団 給与規程の一部改正の件
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第6回

開 催 日	令和8年3月27日
場 所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	12名（理事10名、監事2名）

審議事項	① 令和8年度事業計画及び収支予算について ② 公益財団法人 道央産業振興財団 旅費規程の全部改正の件
報告事項	理事長及び専務理事の職務執行の状況について
結 果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

2. 評議員会

第1回

決議があったものとみなされた日	令和7年4月25日
審議事項	① 理事（補欠）2名選任の件 ② 評議員（補欠）2名選任の件
結 果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

第2回

開催日	令和7年5月26日
場 所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	12名（評議員8名、監事2名、理事2名）
審議事項	① 評議員会会長選定の件 ② 令和6年度事業報告の件 ③ 令和6年度収支決算承認の件
結 果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

第3回

決議があったものとみなされた日	令和7年8月22日
審議事項	① 評議員（補欠）4名選任の件
結 果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

第4回

決議があったものとみなされた日	令和7年10月31日
審議事項	① 理事（補欠）1名選任の件
結 果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

III 附属明細書について

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告書の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和8年4月
公益財団法人 道央産業振興財団